

令和4年7月28日

世田谷区医療的ケア連絡協議会 事務局

医療的ケアを必要とする障害児（者）への支援について

世田谷区では、医療的ケアを必要とする障害児（者）への支援について、現在、以下のように取り組んでおります。

1 相談支援事業者の育成支援（障害福祉部障害保健福祉課）

医療的ケアが必要な障害児の在宅移行に伴う障害福祉サービス利用に対応するため、支援の入口となる相談支援事業者の育成支援を行う。

○区内の相談支援事業所 令和3年度、令和4年度：5人

2 通所施設への助成（障害福祉部障害保健福祉課・障害者地域生活課）

(1) 医療的ケア児の通所施設の確保と安定的運営を図るため、民間事業者が運営する重症心身障害児通所施設及び、医療的ケア児を受け入れている障害児通所施設への補助を行う。（重症心身障害児通所事業運営支援対象の児童発達支援施設は除く）

○（障害児）令和3年度：7施設 →令和4年度：9施設

(2) 民間事業者が運営する重度障害者通所施設（生活介護）において、医療的ケア者を受け入れる際に医療的ケア者対応の看護師の配置費用の助成を行う。

○（障害者）令和3年度、令和4年度：3施設

3 医療的ケアに携わる人材育成研修（障害福祉部障害保健福祉課）

看護師や理学療法士等の医療従事者や、介護職員や相談支援専門員等の福祉従事者、教育関係者、区職員などを対象に研修実施あるいは研修費の一部補助を実施し、医療的ケアに携わる人材の育成を行う。

(1) 在宅医療を支える訪問看護研修

(2) 多職種合同研修（小児等在宅移行研修）

(3) 医療的ケア児支援テーマ別研修

(4) 小児訪問理学療法士研修

(5) 介護職員等の喀痰吸引研修補助（医療的ケア児喀痰吸引等研修費補助）

4 医療的ケア講演会（障害福祉部障害保健福祉課）

(1) 表題：「人工呼吸器をつけて生活する子どもたち」

(2) 日時及び会場： 令和4年10月19日（水）オンライン開催及び会場開催

(世田谷文化生活情報センター セミナールームB)

- (3) 講演及び講師： 医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ理事長 土島智幸氏
特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所理事長
社会福祉法人天童会「秋津療育園」理事長 飯野順子氏
「ぼくのおとうとは機械の鼻」上映、講演、他

5 ふるさと納税を活用した医療的ケア児等を育てる世帯への支援事業の実施

(障害福祉部障害保健福祉課)

医療的ケア支援の取組みを推進するため、ふるさと納税による寄附と直接いただいた寄附をもとに「医療的ケア児の笑顔を支える基金」を令和3年度創設。

現在寄附を活用して、「医療的ケア児ときょうだい(兄弟姉妹)のファミリーを対象とした外出等のイベント事業」「医療的ケア児の災害支援体制づくり事業」を実施。

(1) 令和3年度ふるさと納税を活用した支援事業実施：3団体

①事業名 「医療的ケア児ときょうだい(兄弟姉妹)のファミリーを対象とした外出等のイベント事業」

ア. 特定非営利活動法人 親子はねやすめの取組み

「親子はねやすめのティーパーティ」

みんなで体験・楽しめる・家族間で会話し合えるようなティーパーティをオンライン開催

令和3年7月～令和4年2月実施 延べ42名が参加

②事業名 医療的ケア児の災害支援体制づくり事業

ア. 一般社団法人はびなすの取組み

「医療的ケア児と地域連携による災害サポート勉強会」

災害時の停電に備えた発電機や蓄電池などの防災用品の購入や医療機器を送迎車から給電するなど地震を想定した避難訓練や防災勉強会を実施。



イ. 特定非営利活動法人 Ohana kids の取り組み

「地域と共に医療的ケア児を育てる家族の災害支援体制づくり」

発電機・蓄電池などの防災用品の購入や地域の方に協力いただいた地震による停電、火災発生を想定した避難訓練、施設スタッフ、医療的ケア児の当事者家族・地域の方に参加型のオンライン防災学習会の実施。



(2) 令和4年6月末までの寄附額（累計） 576件 29,519,546円

年度	件数	総額	備考
元	138	9,027,000	医療的ケア児ときょうだいにキャンプを贈ろう！
2	42	2,103,000	医療的ケア児ときょうだいにキャンプを贈ろう！
	149	5,350,676	医療的ケア児のための災害時の”つながり”をつくりたい
3	240	12,793,870	医療的ケア児の笑顔を支える基金
4	7	245,000	医療的ケア児の笑顔を支える基金

(3) 人工呼吸器等を使用している医療的ケア児へのポータブル電源等の配布について

「医療的ケア児の笑顔を支える基金」に基づく事業として、これまでの団体補助に加え、人工呼吸器等を使用している医療的ケア児を対象として、ポータブル電源と小型ソーラーパネル等のセット（以下「ポータブル電源等」という）を個別配布する取り組みを実施。

6 区立保育園での医療的ケア児の受入れ（保育部保育課）

区立保育園で平成30年度より実施している、集団保育における医療的ケア児の受入れ施設を拡充し、医療的ケア児とその家族の地域生活支援の向上を図る。

○平成30年度：1園（松沢保育園）1名 → 平成31年度：3園（松沢・豪徳寺・希望丘保育園）3名 → 令和2年度：4園（松沢・豪徳寺・希望丘・世田谷保育園）4名

7 区立学校・幼稚園等における支援（教育政策部教育相談・支援課、乳幼児教育・保育支援課、児童課）

（1）看護師の配置

区立小・中学校においては、支援を必要とする医療的ケア児に対して、引き続き看護師を配置する。区立幼稚園においても、看護師の配置を進めていく。また、新BOP学童における医療的ケアの実施については、教育相談・支援課と児童課で連携しながら検討していく。

（2）遠隔授業等の実施

新型コロナウイルスの影響により登校できない医療的ケア児がいる場合は、遠隔授業等の実施を通じて支援の継続を図る。